



「業界をリードする技術誌に」

“A Technical Review Advancing the Auto Industry”

取締役会長 石丸 典生
Tsuneo ISHIMARU

この度、電装技術会創立40周年を機に、新しい技術論文誌「デンソーテクニカルレビュー」が発刊されることは、長年デンソーの開発に携わってきた私達にとって誠にうれしい限りであり、心からお祝い申し上げます。その上、発刊第一号の巻頭言を書けることは、幸せの限りであります。

電装技術会は、これまで機関誌として電装技術会会報 (Journal of Nippondenso Engineering Society) と技術会だよりの二誌で、主として社内の技術者の意識向上、新技術の普及を図るとともに、業界に誇り得る基礎的研究結果を発表してきたが、総合的に見て、社外に配布し、業界をリードできるほどのものではなく、またその気持ちもなかったと言える。国内でも「日立評論」、「東芝レビュー」など立派な業界技術誌が毎月発行され、その内容の豊富さ、充実さを見るにつけ、当社も業界で一、二を争う規模を持ち、技術を売り物とする会社でありながら、会社としてその技術の社外への発信の余りの少なさに、長年歯がゆい思いを噛み締めてきたものである。世の中はすべて“Give and Take”であり、公式な技術の発信があつて初めて社外からもデンソーの技術レベルが認められ、様々の隠された技術が返って来るのではなからうか。

もちろん、当社として種々の学会に所属し、国内外での論文発表により、それぞれの分野では著名な研究、技術家も多いが、果たして“デンソーの技術”という包括した形で世界に受け入れられているかは疑問である。ここで改めて製造業の公開技術誌のあり方について、考えてみたい。製造業が発行する技術誌は、

①その内容に依り、会社の技術力が一般によく浸透し、技術的信頼を得ることにより、その製品がよく売れ、会社に利益をもたらすことが第一の目的である。前述のように各分野、特に基礎技術に関する一分野のみで、一部の人々に名声をはせたとしても、他の分野の顧客に浸透しなければ、その価値は少ない。その点が各種研究機関への発表と異なる点である。広く関係する顧客にデンソーの技術力を訴え、登載論文の分野の人だけでなく、業界の全般の信頼を勝ち取ることが肝要である。

もちろん、学術的価値の高いことは必要で、それが無ければ、技術的、応用的な価値は生じてこないが、その結果は何らかの形で製品の性能、耐久品質に結びつき、商品価値を高めるものでなければならない。

②その内容は常にコンペチターの注目に値するものでなければならない。敵に塩を送るのでは？と心配する向きもあろうが、コンペチターがその発刊を待ちわび、当社の「テクニカルレビュー」

からいかに技術の、従って商品の将来動向をつかまんかとするかどうかに、その成否がかかっていると言える。コンペチターの興味を引かない会社の技術誌など何の意味も持たない。技術の漏洩を恐れるのではなく、常に技術をリードすることに腐心することが大切である。“肉を切らせて骨を切る”との例えもある。常にリードする技術をもとに、勇気を持って技術を公開することが、この技術誌の成功の基となろう。

③掲載の記事、論文は読み易く、興味をそそるものでなければならない。どんな立派な内容でも、誰も読まず、理解しようとしなければ白紙の雑誌に過ぎない。社内外を問わず特別な専門家でない人達の興味をいかに引き、できるだけ沢山の頁に眼を届かせるかが大切である。その道の専門家には、その属する学会を通じて、詳細な検討をさせ、技術内容の賛否を求めればよい。一般の技術誌の目的は、専門家以外の人達にその技術レベルの高さを認識させるところにある。従って、掲載する論文の表現は、学会への発表そのままではなく、もっと平易な表現で、その成果を強く訴えるものでなければならない。最初に手に取って、表紙を開き、目次を見て面白そうだなと思わせることが第一で、次に各記事のレベルが高く、見る人の興味をそそることが肝要である。

以上、私が理想とする技術誌の姿について、①目的は会社の技術的信頼度の向上を通じ、会社の業績に寄与すること、②内容はコンペチターがその発刊を待望するようなもの、③論文の表現は専門家向けでなく、一般技術者向け、すなわち内容は高く表現は平易であり、だれにでも読めること、の三点を強調した。

電装技術会も、会社名の変更に伴い、デンソー技術会と改名し、同時にこの40年間の歴史の上に、新しい方針と新しい技術誌「デンソーテクニカルレビュー」の発刊により、社内の技術集団の結束と向上を図るとともに、社外の技術的信頼を勝ち取ることでデンソーの発展に寄与できるものと信じている。デンソー技術会のますますの発展を祈念して巻頭の言葉としたい。